

2018年4月26日(木)JIL 常任委員会会議記録<要旨>

場所: 戸山サンライズ中会議室

参加: 秋山、井谷、今村、岡本、笠原、川崎、河本、後郷、佐藤、白杉、中尾、中西、平下、藤原、安原

Skype: 岡田

欠席: 岩本、和田

事務局: 山本、森、盛上、香村、飯塚、富川 (記録: 富川)

(1): 出欠確認

(2): 障害者ケアマネ、入院中の介助について

- ・相談支援専門員(ケアマネ)研修時間が42時間に増える。
→専門家育成によってセルフケアプラン作成が妨げられ、支給量抑制につながる恐れがある。
- ・入院時に、コミュニケーション支援以外でも介助者を使えるようになった。
→病院や市役所が理解をしていないケースもあるため、その場合は厚労省に問い合わせさせる。

(3): 各委員会報告/計画

※逐次記録参照のこと。

- ・PC 委員会より、委員会から派遣する講師の派遣料金について各委員会で統一するのか、それとも各々の委員会が独自に決めるべきなのか質問があった。
→9月の常任委員会で議論するために、7月の事務局連携会議までに各委員会の意見を収集。

(4)JIL 報告・決算・計画・予算

※逐次記録参照のこと。

(5)知的映像製作状況

※逐次記録参照のこと。

(6)情勢報告、大行動報告(政策委員会)、DPI 報告

※逐次記録参照のこと。

(7)国際報告

※逐次記録参照のこと。

- ・今夏、平下さんがブルース氏のセンターを訪問する予定。
→通訳でSTEP えどがわの曾田さんが同行。旅費はJILが負担。

(8)首原弁護士のバリアフリー問題

※提出資料参照。

(9)常任委員会特別枠について

・もう一度たたき台をつくって、総会に提出。

<改定案>

常 任 委 員： 12 名（選挙により選出）

特別常任委員： 2 名（当選した 12 名の常任委員による互選・障害種別、関係団体等を考慮）

女 性 枠： 3 名（当選した 13 名の常任委員による互選。ただし何が何でも 3 名選ばなければならないのではなく、最大 3 名までという意味）

合 計（最大）： 17 名

<現行>

常 任 委 員： 13 名（選挙により選出）

特別常任委員： 2 名（当選した 13 名の常任委員による互選）

合 計： 15 名

(10)今後の JIL 活動について

・全体を通して、誰が読んでもわかりやすい文章をつくる。

→易しい見出しをつくって、詳細の情報をその下に付け足すのも一つの案。

・海外との交流：

→「…日米で協力して…」を「…様々な国で協力して…」に修正。

・JIL の中期計画：

→「…直接支援の現場を…」の箇所を、介助サービスが主だっ見えるように書き込まないように工夫をする。

→「…また、2017 年に立ち上がった…」の部分に、精神・知的のことも書き加える。

(11)交通費・参加費助成について

※継続審議

(12)その他